



图书基本信息



内容概要

我々は、中国史上の家族や家父長制という歴史の実態をしっかり把握しているだろうか。
大家族イメージ、家父長制イメージだけが一人歩きしていないだろうか。
中国史における通説や常識を疑い、唐宋時代の家族のあり方を考える。



作者简介

大沢正昭

1948年仙台生まれ。

京都大学大学院文学研究科博士課程中退。

奈良大学専任講師、埼玉大学教養学部助教授を経て上智大学文学部教授。

京都大学博士(農学)。

専門は中国前近代社会経済史(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)



书籍目录

- 序章 遺産のゆくえ 女性財産権問題から
- 1章 婦は強く 唐宋時代の婚姻と家族
- 2章 嫉妬する妻たち 夫婦関係の変容
- 3章 「五口の家」とその変容 家族規模と構成の変化
- 4章 衰退する家族 『名公書判清明集』の場合
- 終章 むち打つ者と打たれる者 家族から世帯へ



版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:<http://www.tushu007.com>